

近江八幡市立総合医療センター



▶ 病院の概要

所在地：〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379番地
 開設者：近江八幡市長 富士谷英正
 開設年月日：平成18年10月1日
 病院長：宮下 浩明
 病床数：407床（含 感染症4床）
 診療科目：内科、血液内科、腎臓内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、
 リウマチ・膠原病内科、外科、消化器外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、
 小児科、産婦人科、麻酔科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、放射線科、病理診断科、
 形成外科、救急診療科、リハビリテーション科
 医師数：93名 指導医数：36名（指導医講習修了者）
 一日平均外来患者数：896人 一日平均入院患者数：362人

▶ 研修プログラムの目的と特徴

本研修プログラムの特色は、プライマリ・ケアをはじめとした多様な医療ニーズに対応できる総合的な幅広い臨床能力を有する医師の育成を目的とします。2年間の初期臨床研修期間のうち、当初の1年は、必修科目としての内科・救急部門、選択必修科目としての外科・小児科・産科・麻酔科・精神科といった基本研修科目にあて、基本的な知識と技術の修得を目指します。特に東近江医療圏で唯一の24時間365日体制の救急救命センターでの研修が可能であり、また、周産期小児救急医療にも積極的に関わることができます。2年次は、教育熱心な地域の先生方の指導の下での幅広い地域医療研修、他病院での研修も含め希望する診療科を自由度高く選択することができます。

▶ 研修スケジュール

《1年目》

内科	救急医療	選択必修Ⅰ	選択必修Ⅱ
6ヵ月	2ヵ月	2ヵ月	2ヵ月

《2年目》

地域医療	精神科	選択科目
1ヵ月	1ヵ月	10ヵ月

※ 内科とは総合内科、血液内科、代謝・内分泌内科、腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科
 ※ 救急3ヵ月必修のうち、1ヵ月分は2年間を通した当直業務をもって充てる
 ※ 選択必修は外科、麻酔科、小児科、産科、精神科から選択する

▶ 研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 京都府立医科大学付属病院、滋賀医科大学医学部付属病院
 公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院（精神科）、滋賀県成人病センター
 独立行政法人 国立病院機構 東近江総合医療センター
 研修協力施設 近江八幡市・蒲生郡医師会所属診療所
 東近江市医師会所属診療所

▶ 後期研修について

原則として、卒業後2年間の医師法第16条の2に定める臨床研修（医学を履修する課程を置く大学に附属する病院、または厚生労働大臣の指定する臨床研修指定病院で行う所定の臨床研修をいう）を修了した者で、さらに3年間の希望する診療科での研修を受けることができます。

▶ 病院のアピールポイント



《院長からのメッセージ 院長 宮下 浩明》

諸君は、最低でも18年という長きに渡り勉強に励んできた。そしていよいよ来年から医師として巣立ちを迎えることになる。いままでは授業料を払い教えてもらう側であったが、これからは仕事をしてお金を払っていただく側になる。巣立ち直後の雛鳥のようにまだヨチヨチ歩きはあるが、先輩の助けを借りて患者さんに医療を提供できるようになり、医師としてこの上ない喜びを経験することだろう。それとともに、プロとして結果を求められるというプレッシャーが重くのしかかってくる。一人前の医師になるには、知識量とともにそれらを併せ持った知恵を実臨床から習得することが重要である。
 当医療センターは、OJTを重視した少数精鋭体制のもと、一人一人に十分な症例数を確保するとともに、エビデンスに基づいた標準的医療を指導するための研修指導医の育成に尽力している。これまでの当医療センターの研修医をみていると、はじめは患者に迷惑をかけることも少なくない。しかし、二年目ともなると、大きく成長して、貴重な戦力として活躍してくれるようになっていく。一人の脱落者も出さず、協力型病院や協力施設から「優秀な研修医」と評価されており、研修指定病院の院長として喜ばしい限りである。指導医の能力、施設環境、症例の種類や数は当院の自慢どころではあるが、研修で最も大切なのは諸君の努力である。
 写真や評判だけでは、病院の研修体制はわからない。研修棟での宿泊も可能であるので、遠方からでも、ぜひ一度見学に来ていただきたい。



《研修責任者コメント 副院長 立川 弘孝》

当医療センターは琵琶湖の東岸、東近江地区の中核病院として、急性期疾患の診療を中心とした病院です。救急医療を中心としたプライマリ・ケアを勉強するには症例も指導医の数も豊富です。また、医療圏で唯一の救命センター（三次救急）があるため重症症例も多く、また症例報告のできる稀な症例も多く経験できます。地域医療の研修では医療圏内にプライマリ・ケア指導医の先生もおられ、地域医療研修でも素晴らしい成果を上げています。
 当センターの研修の特徴は、とにかく手技や手術などを積極的に行う参加型の研修で、そのために研修医数を敢えて制限し、密度の濃い研修と、きめ細かい指導ができることを保証しています。もうひとつの当センターの特徴は、各診療科間の垣根が低いことです。あえて研修医室は設けておらず、総合医局のなかに各研修医のデスクがあります。そのためすべての診療科の先生と顔見知りで、他診療科へのコンサルトが気軽にできる環境と雰囲気があります。
 マッチングでの2年間、あるいは大学とのたすきかけでの1年間の初期研修期間に、何事にも積極的に経験し、貪欲に学びたいと考えている諸君には最適な研修病院だと思います。さらに後期研修の3年間を含め、5年間の研修期間と位置づけ、これまで研修終了後半数以上の先生方が引き続き当センターで後期研修を継続しています。

▶ 研修・認定施設一覧

日本内科学会認定内科認定教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本血液学会認定医制度研修施設、日本腎臓学会認定専門医制度研修施設、日本外科学会認定、専門医制度研修施設、日本消化器学会認定消化器専門医研修施設、日本泌尿器学会認定泌尿器専門医研修施設、日本小児科学会認定小児科専門医研修施設、日本産婦人科学会認定産科専門医研修施設、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本眼科学会専門医研修施設、日本超音波医学会研修施設、日本病理学会病理専門医研修施設、日本消化器病学会専門医制度関連施設、日本消化器内視鏡学会認定施設、日本透析医学会認定施設、日本脳神経外科学会専門医研修教育施設、日本放射線科専門医研修機関認定施設、日本産科・新生児医学会専門医研修施設、日本病態栄養学会認定栄養管理・N5-T実施施設、日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設、日本産科医学会認定施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本内科学会内分分泌代謝科認定教育施設、日本内分分泌外科学会内分分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設、日本臓器移植ネットワーク腎臓移植施設、日本がん治療認定研修施設、婦人科悪性腫瘍研究機構登録参加施設、日本小児外科学会専門医制度教育関連施設、三学会構成心臓血管外科専門医制度関連施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本ステントグラフト実施基準委員会 腹部ステントグラフト実施施設・胸部ステントグラフト実施施設、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー・焼灼術実施施設、日本核医学専門医教育施設、日本オンコプラステックサージャリー学会インプラント及びエキスパンダー実施施設、日牌人間ドッグ実施指定施設など

▶ 募集要項

1. 応募資格：医学部卒業見込（既卒）者で医師国家試験受験予定者
2. 応募締切日：2017年8月上旬（仮）
3. 試験日程：2017年8月上旬（仮）、2017年8月下旬（仮）
4. 募集人員：7名（定数調整により変更する場合があります）
5. 処遇等：身分嘱託医師
 賃金等 1年目 371,250円 2年目 391,125円
 通勤手当、住居手当、宿日直手当等
 休暇 有給休暇、特別休暇有
 医師賠償保険 総合医療センターで加入。個人は任意加入です。

▶ 応募連絡先

所在地：〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379番地
 担当部署：近江八幡市立総合医療センター 事務部 総務課
 電話：(0748) 33-3151（代表）
 F A X：(0748) 33-4877
 E-mail：030202@city.omihachiman.lg.jp

▶ 交通案内

